

平成 27 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 27 年 6 月 18 日に鳥類調査を実施した。天気は曇、気温 23.2~25.8℃、東~南東、風速 1.2~3.4m であった。当日は大潮で、潮位は 12 時 03 分 干潮(12cm)、18 時 44 分 満潮(191cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	9:40-10:25	13:05-14:25	11:40-12:25
天候	曇	曇	曇
気温(℃)	25.8	23.2	24.8
風向	南東	東	東
風速(m)	2.0	1.2	3.4
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。 ヨシ原でオオヨシキリが多数さえずっていた。 東側の干潟で潮狩りする人(1名)がおり、カワウなどが西側へ移動した。	水上バスの出入りが多かった。 砂浜13人(散歩、清掃作業など)、船着き場34人(観光など)、磯12人(磯遊び、休憩など)、人が多く見られた。	干潟が広く干出ししていた。 カヤックが一艘、通過した。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	カワウ(1000羽) ウミネコ(160羽)	カワウ(597羽) コサギ(82羽)	コアジサシ(156羽) カワウ(133羽)
その他の鳥類	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、ミヤコドリ、ズグロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、アジサシ、トビ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ	カルガモ、ササゴイ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、オオセグロカモメ、ハジロクロハラアジサシ
備考	・汀線際では、カワウやカモメ類が休息。 ・汀線際や干潟では、サギ類、ミヤコドリが採餌。 ・干潟では、シロチドリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ズグロカモメなどが休息。 ・トビの飛来に驚いてカワウが飛ぶが、すぐに干潟へ戻る。 ・重要種として、7種を確認(ダイサギ、コサギ、シロチドリ、ミヤコドリ、ズグロカモメ、コアジサシ、トビ)。	・第六台場ではカワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギが樹上で繁殖。ひなや幼鳥を確認。 ・鳥の島で、カワウは営巣。 ・空のカワウの巣が目立ち、多くの巣ではひなが巣立つ。護岸などで休息するカワウ、アオサギに、幼鳥が混じる。 ・重要種として、2種を確認(ダイサギ、コサギ)。	・干潟でカワウ、コアジサシ、ハジロクロハラアジサシ、カモメ類が休息。サギ類、シロチドリが採餌。 ・周辺の護岸ではササゴイ、コサギ、コチドリなどが採餌。 ・重要種として、6種を確認(ササゴイ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、コアジサシ)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	5月					6月					重要種 選定基準					
				葛西人工渚	お台場海浜公園			森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園			森ヶ崎の鼻	文化財保護法	種の保存法	環境省 RL 2012 鳥類	東京都 RL 2010 (区)		
					第六台場	鳥の島	公園側			合計	第六台場	鳥の島						公園側	合計
1	カモ	カモ	カルガモ	6	5	7	3	15	5	6		3		3	11				
			カルガモ雑種 ^B			4		4											
2	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	4															留
3	カツオドリ	ウ	カワウ	171	338	262	22	622	155	1000	276	317	4	597	133				
4	ペリカン	サギ	ゴイサギ		8			8			2			2					
5			ササゴイ											1					CR
6			アマサギ	1															
7			アオサギ	4	21	9		30	10	12	21	10		31	11				
8			ダイサギ	10	7			7	3	1	12			12	1				VU
9			コサギ	11	17			17	10	9	82		1	83	5				VU
10	ツル	クイナ	バン	1															VU
11	チドリ	チドリ	ダイゼン	1															VU
12			コチドリ						2						1				VU
13			シロチドリ	4	2			2	9	5					2				VU
14		ミヤコドリ	ミヤコドリ	33						2									VU
15		シギ	チュウシャクシギ	3					2										EN
16			アオアシシギ	1															VU
17			キアシシギ	16	2	5	14	21	3										NT
18			イソシギ	1	1	1		2	2										VU
19			キョウジョシギ	1	33	10	7	50	30										VU
20			トウネン	16															NT
21			ハマシギ	16															NT
22		カモメ	ズグロカモメ							1									VU
23			ウミネコ	10					5	160									
24			セグロカモメ	6															
25			オオセグロカモメ	1						19					2				
26			大型カモメ ^A	2					1										
27			コアジサシ	22			3	3	224	1					156				国際
28			アジサシ	1															
29	タカ	タカ	トビ							1					2				
30	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	2			2	2											
計8目11科30種				24種 ^A	10種	6種 ^B	6種	12種	13種 ^A	12種	5種	3種	2種	6種	11種	0種	1種	4種	18種

※種のカテゴリ・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会2012)に従った。

A: 大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

B: カルガモとマガモの雑種と思われる個体。両種の特徴を持つ。確認種数には数えない。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧 I B類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、留:留意種
東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~ 2010年版.

<葛西人工渚>

○調査地点の状況

干潟が広く干出し、水たまりが多かった。



○出現種(シロチドリ)

干潟でカモメ類など共に休息する。採餌する。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 II 類に指定されている。干潟でゴカイなどを食べる。



○出現種(コサギ)

干潟の水たまり、汀線で他のサギ類、ミヤコドリと共に採餌する。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 II 類に指定されている。浅瀬で魚を捕える。動かず待ち伏せ、忍び寄る、歩き回る、小走りで飛び立って追いかけるなど、多彩な採食行動をとる。



○出現種(ウミネコ)

汀線や干潟で休息する。褐色の羽が混じった若鳥が見られる。成鳥の翼上面は濃青灰色で、それまでに4年ほどかかる。

<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

鳥の島に植樹された桜は、お台場海浜公園側に
植えられていた。



○出現種(カワウ)

消波ブロックで休息する。腹の白い幼鳥が見
られる(中央上部)。徐々に褐色の羽に変わり、
成鳥になると黒色の羽になる。第六台場、鳥
の島の樹上で多数営巣する。ひなが巣立ち、
空の巣が目立つ。



○サギ類の集団営巣地(コロニー)

第六台場の一角でアオサギ、ダイサギ、コサギ、
ゴイサギが集団営巣地(コロニー)を形成してい
る。白いコサギ、ダイサギが目立つ。里山や樹
林地の宅地開発などで、営巣場所が減っている。
コサギ、ダイサギは東京都レッドリスト(2010)
では絶滅危惧 II 類に指定されている。

○出現種(ゴイサギのひな)

コロニーの中で2羽、確認された。成鳥になる
と頭部から背、肩羽が緑黒色、翼上面は灰色、
胸や腹は白、目は赤になる。



<森ヶ崎の鼻>

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



○出現種(コアジサシ)

干潟で休息、干潟周辺の浅場で採餌する。森ヶ崎水再生センター屋上、コアジサシの人工営巣地では、コアジサシの成鳥が約2000羽、飛翔できそうな幼鳥30羽程度が確認されている (<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20150621>)。ここで営巣するコアジサシが干潟を利用していると思われる。



○出現種(ハジロクロハラアジサシ)

まれな旅鳥。中国北東部などで繁殖し、東南アジアからオーストラリアにかけて越冬する。コアジサシと共に、水浴び、休息する。



○出現種(ササゴイ)

護岸沿いの干潟で採餌する。日本には夏鳥として飞来し、水辺近くのヤナギやマツに営巣する。市街地の街路樹での営巣、集団営巣する事もある。

<その他>

○ウミネコの繁殖

運河の構造物にウミネコが多数見られ、その中に巣立ち前のひなの姿が確認された。

日本では北海道、本州、九州の沿岸と周辺の島々で繁殖している。北海道の天売島、本州の青森県蕪島、岩手県樺島、宮城県陸前江の島、山形県飛島、島根県経島などが、集団繁殖地として天然記念物に指定されている。東京都八丈島でも繁殖が確認されている。

2005年頃から上野公園周辺で繁殖していたと思われ、2011年以降にはビルの屋上で営巣する個体が確認されているが、東京都内の運河での繁殖事例は非常に稀であり、今後の動きが注視される。

